

事務事業名	公共下水道汚水施設管理事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課	
総 計 画 体 系	政策名	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり<<定住環境>>	所属G	整備維持グループ	課長名	須田 弘
	施策名	(11)下水道の整備	担当者名	新田利治	電話番号	0854-42-3471
	目的 対 象	市民	意図	衛生的な生活環境の中で暮らすことができる。	(内線)	4610
	基本事業名	(029)下水道施設の維持管理	予算科目	会計 2 5 2 5 0 1 1 項 目 1 0 0 5 0 1	大事業名	公共下水道汚水施設管理事業
目的 対 象	下水道整備済地区の人	意図	安心安全に下水道を利用できる。	中事業名	公共下水道汚水施設管理事業	

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	維持管理業務委託 処理施設の電気料、水道料、電話料、保険料の支払い 処理施設の故障対応及び修繕

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動) 木次三刀屋公共下水道施設の維持管理費 (処理場1箇所、中継ポンプ68箇所)	26年度計画(26年度に計画する主な活動) 同左			
	② 活動指標	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (計画)
ア	処理区数	箇所	1	1	1	1
イ	処理場	箇所	1	1	1	1
ウ	中継ポンプ	箇所	67	68	68	68
エ	業務委託契約数	件	1	1	1	1

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (計画)
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (計画)
	①公共下水処理施設 ②下水道利用者 ③家庭排水	ア 処理場・中継ポンプ	箇所	1・67	1・68	1・68	1・68
		イ 処理能力	m ² /日	5,100	5,100	5,100	5,100
		ウ 接続人口	人	7,895	7,658	7,755	7,755
	①適正に維持管理する ②生活環境を改善する ③汚水を浄化する	ア 接続率	%	84.5	83.7	84.1	84.1
		イ BOD除去率	%	99.0	99.3	98.9	99.3
		ウ					

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)	
需用費 21,920千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
役務費 1,490千円		県支出金	千円				
委託料 66,667千円		地方債	千円				
使用料及び賃借料 409千円		その他	千円	97,906	95,676	97,279	109,062
工事請負費 6,478千円		一般財源	千円				
備品購入費 315千円	事業費計(A)	千円	97,906	95,676	97,279	109,062	
計 97,279千円	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	780	780	800	
		人件費計(B)	千円	3,075	3,056	3,114	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	100,981	98,732	100,393		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
汚泥処理施設共同整備事業(MICS事業)により、老朽化が進んだ雲南クリーンセンターを改修し一体的な汚水処理が計画されている。	更なる汚泥処理単価の見直しを行い、経費の縮減につなげた。	適切な維持管理

事務事業名	公共下水道汚水施設管理事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
-------	---------------	-----	-------	-----	------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	現時点で放流水質基準を満たしている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由	汚水流入がある限り廃止・休止はできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由	汚水処理施設共同整備事業(MICS事業)により、雲南クリーンセンターと一体的な汚水処理を計画中。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	汚水処理施設共同整備事業の実施により脱水処理が不要となる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	現在でも最低限の業務時間で業務を行っている。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由	処理区域においては、すべての市民が下水道に接続することができるため、公平である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	処理場の機械電気設備の経年劣化により、修繕費用が増大の傾向であるため、適正な維持管理に努め、施設の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図らなければならない。	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	●		×																				
	低下		×	×																				
<p>面的整備については、ほぼ完了したが、経年による機械の劣化が問題となっている。順次修繕等行っているが、全体的な更新計画を立てることが必要であり、平成26年度において機能診断調査を実施する。</p> <p>MICS事業により、4池目の水処理施設の増設を計画中。</p> <p>MICS事業により管理費の縮減が期待できる。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。</p> <p>コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																							